

RADISH



参加申し込みフォーム



- 参加費 無料
- 定員 300 人

<https://jp.surveymonkey.com/r/Y3V8RW8>

事前登録〆切【7月5日（金）】
（定員になり次第受付終了）

Research **A**ssociation for
Dissemination and **I**mplementation
Science in **H**ealth

The 2nd Conference of Dissemination
and Implementation Science

D&I科学研究会
（普及と実装科学研究会）
第2回学術集会

当番世話人 金吉晴（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 所長）



エビデンス・プラクティスギャップは なぜ起こるのか？

— 実装の阻害・促進要因に迫る —

日時：2019年7月13日（土）
10:00～15:20

会場：国立がん研究センター 新研究棟1階
大会議室
東京都中央区築地5-1-1

ワークショップ

10:10-11:40

「実装研究のための統合フレームワーク（CFIR）を使って、
エビデンス実装の阻害・促進要因を分析する」

トピック1『D&I研究イントロダクション』

トピック2『CFIRの概要』

トピック3『CFIRの活用事例』

島津 太一（国立がん研究センター 社会と健康研究センター 予防研究部）
齋藤 順子（国立がん研究センター 社会と健康研究センター 予防研究部）
今村 晴彦（東邦大学医学部 社会医学講座衛生学分野）

休憩・交流会

11:45-13:15

コアタイム 12:40-13:10
（この時間は演者、世話人が居ります。）

研究事例紹介

13:15-15:15

『がん告知技術を全国の腫瘍医に届けるには—12年の軌跡—』

藤森 麻衣子（国立がん研究センター
社会と健康研究センター 健康支援研究部）

『妊娠期からの切れ目のない支援における医療・保健・福祉が連携した
地域介入プログラム —須坂トライアルから明らかになったこと—』

立花 良之（国立成育医療研究センター こころの診療部
乳幼児メンタルヘルズ診療科）

● 主な対象：
エビデンスの普及と実装に
興味のある研究者・教育者・
医療・福祉・保健・行政関係者

● 主催：
国立がん研究センター
社会と健康研究センター

● 共催：
国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所
日本がん支持療法研究グループ
（J-SUPPORT）

● 後援：
厚生労働省
国立研究開発法人
科学技術振興機構
社会技術研究開発センター（RISTEX）
国立研究開発法人
日本医療研究開発機構（AMED）
国立大学法人
東京大学大学院医学系研究科
公共健康医学専攻（50音順）

● お問い合わせ先：
国立がん研究センター
社会と健康研究センター 予防研究部
島津 太一（研究事務局）
DandI@ncc.go.jp

